



「真田の里 沼田の城下町満喫MAP」 製作過程

群馬県立沼田女子高等学校 羽鳥 一彦

平成27年度の一学期に、沼田市役所の観光課から大河ドラマ「真田丸」関連で、多くの観光地図や沼田市の紹介パンフレットを作るプロジェクトの1つとして、女子高生の目線で沼田市の街を紹介する地図の作成を依頼されました。そこで生徒から希望者を募ったところ、1年生5人、2年生5人が集まり、計10人のメンバーで地図を製作することになりました。

夏休み中、生徒は沼田市役所の観光課や文化財の担当の方の説明を受けながら、市内の史跡・名所を巡りました。沼田城本丸を出発し、小松姫の墓がある正覚寺から武者隠しのある城下の街道を通り、真田信吉の墓がある天桂寺まで散策をしました。その中で、天桂寺に沿った城堀川は、インフラとして沼田城下の上水道を確保していたことなど、詳しい講義も受けました。この時、説明をしてくださった高山さんは、NHKで放送されている「ブラタモリ」でもタモリさんを案内したそうです。

沼田女子高校は、沼田城の縦曲輪にあたり、今でも校庭の南東部には沼田城の外堀が残っています。また、高校の周辺は旧城下町のエリアとなっており、ここは普段、生徒が通学や買い物、食事等をする日常生活の空間になっています。この旧沼田城下に21世紀の沼田女子高生の感覚を重ねることが、沼田女子高校の城下町マップ製作のヒントとなりました。



二学期からは、沼田市職員と生徒で沼田市の白地図を見ながら、アイデアを出し合っていました。観光客に勧めたい歴史・文化財・沼田市のお菓子やお土産をどのように地図にいれていくか、従来の地図と違う女子高生の目線をどのように反映するかに時間をかけました。



今回は「真田の里」ということで、地図の範囲は、生徒の活動範囲でもある沼田城址を中心とした旧城下町に限定しました。沼田城下町の道路と上水道のインフラは、真田氏時代に整備されたものです。このエリアの東西南北の道路区画は、真田氏時代の町割(道路区画)そのまま残っており、生徒たちは普段その真田街道を歩いています。

三学期の前半、「高低差70メートルの滝坂を登ると、バナナ1本のカロリー消費となる」というテーマから始め、城下町を巡るお勧めコースを2つ提案しました。そして、史跡、食事、お土産の説明文や真田信幸、矢沢頼綱、小松姫、城下の物産品のイラストなどを全て手書きで作成していき、女子高生の目線が盛り込まれた、手描きの「沼田の城下町満喫MAP」が完成しました。この地図は平成28年3月末より1万部発行され、現在、沼田市を訪れる多くの観光客の方の城下町探訪に役立っています。

